

政務活動費活動報告（研修）

(1) 研修名：平成25年度3月地方議会議員セミナー in 東京

(2) 参加者：上杉 正敏、徳永 ひで子

(3) 日時・場所：平成26年3月22日（土）

(株) 地方議会総合研究所（東京）

【1. 研修目的】

平成25年の3月議会で彦根市議会基本条例が制定されたことを受けて、これからの地方行政と住民のあるべき姿や自治体議会の課題を学び、今後の議員活動に役立てるために参加した。

【2. 結果報告】

(1) 内 容

講義 「地方行政と住民—自治体議会の課題と対応」
講師 明治大学名誉教授 中邨 章氏

論点の整理では、住民の特色と問題、地方行政の評価、議会改革と地方政治の課題、自治体政治のこれからの学んだ。住民と公助—世界に広がる政治・行政不信では、自助・アメリカでの消防、救急の事例を学んだ。地方行政の評価では、日本の地方議会での広報誌が世界では例がないことや自治体・公務員の課題を学んだ。地方政治の課題—転換期を迎えるでは、議会改革の実績や議会改革と住民の関心を学んだ。

考 察

今回の研修会では、地方行政と住民の在り方と自治体議会の課題と対応を中心に学んだ。日本の住民は公助に頼りすぎている点と日本の地方行政は業務の幅が広すぎていて、不規則な場面での対応には弱いことを改めて知った。我が彦根市議会も議会基本条例を制定する運びとなったが、これからはこの条例を活かし、一人でも多くの市民に理解を得て地方行政を監視し住民の声を市政に反映していかなければならないことを、強く考えさせられた。今回の研修では、住民にも今まで以上に、公助だけに頼るのではなく、自助・共助を求めていかなければならないことも強く感じた。その為にも、我々議員一人一人が常に住民の声に耳を傾け、議員の資質の向上にも努力しなければならぬことも改めて感じた。